



2006年9月

オランダ大使館セミナーのご案内

家畜防疫対策のもうひとつの手法

オランダにおける鳥インフルエンザ対策の事例

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

来る10月6日(金) ホテルオークラ東京にて、標記セミナーを開催することとなりました。

小さい国土に高密度で家畜が飼養されているオランダにおいて、家畜防疫対策は極めて重要な政策です。オランダ政府は、業界との緊密な連携のもと、家畜防疫対策の徹底に努めてまいりました。

2003年オランダで鳥インフルエンザが発生した際には、家禽の殺処分により封じ込めに成功しましたが、養鶏業界の各方面に多大な経済的被害をもたらしました。オランダ政府は、この経験を踏まえ、従来の家畜防疫対策を強化する新たな手法を開発しました。鳥インフルエンザ対策としては、今年3月より、ホビー用家禽と屋外放し飼いの採卵鶏に限り、予防ワクチンの接種を許可する新たな制度を導入しています。

当セミナーのために、オランダ動物衛生当局の代表者および鳥インフルエンザ研究の専門家が来日し、講演を行います。講演では、鳥インフルエンザ対策を中心に、オランダ政府が新たな家畜防疫対策を確立するまでの経緯および現在の状況をご説明します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(参加費無料、同時通訳付)

敬具

オランダ大使館農務参事官 フレデリック・フォッセナー

Mr. Frederik Vossenaar, Agricultural Counsellor
Agricultural Section, Royal Netherlands Embassy
3-6-3 Shiba-koen, Minato-ku, Tokyo 105-0011
Tel. 03-5401-0421/Fax 03-5401-0424
Email: nltokagr@ma.newweb.ne.jp